

5Sと見える管理で理想の工場づくり

基礎コース

「5S」は改善活動の基本であり、「5S」ができなければ、あらゆる改善活動の成果を期待することはできないと言っても過言ではありません。
また、「見える管理」はわかりやすいマネジメント方法の基本です。だれが見ても一目で異常と正常がわかるような管理の仕組みを「見える管理」と言います。
この二つの手法の必要性と実施方法をわかりやすく、実例と演習を交えて解説します。

対象	ものづくり現場のリーダー (中核人材)の皆様 経験年数5~10年程度
定員	30名
時間	9:30~16:30 6時間 (9:00から受付)
日程	平成27年 5月14日(木)
会場	岐阜工業高等専門学校 図書館 多目的ホール

研修後のフォローアップ

研修後、ご希望により、逆スクーリング制度(フォローアップ)を実施します。

講師が受講者の現場を訪問し、直接指導を行います。(有料)

講師紹介

桑原 喜代和

プログラム

1. 5Sとは“掃除をするのが5S?”

- 1 整理・整頓・清潔・清掃・躰の本当の意味
- 2 「整理」とは? 赤札作戦で捨てる!
- 3 「整頓」とは? 見えるようにする!
- 4 「清掃」「清潔」「躰」とは? キレイを保つ!
【演習】5Sチェックリスト
- 5 2S(整理、整頓)活動からのスタート

2. 理想的な工場が見える「見える管理」

- 1 5Sで理想的な見える工場をつくる
- 2 何のために、何を見えるようにするのか?
- 3 「見える管理」と2つの改善手法
- 4 見えるようにすることから始まる改善活動

3. これなら出来る見える化の20の事例

- 1 工場(どこで、どのように)の見える化
- 2 生産管理(いつ、なにを)の見える化
- 3 在庫(どこに、なにが)の見える化
- 4 事務所の見える化 机の周りも例外ではない
- 5 役に立ついろいろな見える化の事例
【演習】見える化の実施

4. ITを使用した“見える化システム”

- 1 デジカメや無人カメラの意外な使い方
- 2 設備機械やパソコンをネットワークで結ぶ
- 3 工場の実際のデータを全社で活用
- 4 情報の見える化によるガラス張りの工場

大手工作機械メーカーにて、加工と組立の自動化、生産管理の更新、ERPの導入、等のプロジェクトを推進。部品加工から製品組立までの一連の製造に関する技術、管理、情報の多岐に渡る分野での実務経験が豊富。コンサルタントとして独立、「ケイ・サポート」を創立。現場改善を中心として生産技術、生産管理や情報システムを含む製造全般についての改善、改革、革新を企業向けに支援中。